定例理事会・定例総会

平成26年2月27日開催

（内容書類一覧）

理事会・総会　議事次第

平成25年度　事業報告・収支決算

平成26年度　事業計画案・収支予算案

定款変更資料

役員選出資料

特定非営利活動法人

社会的責任投資フォーラム（JSIF）

特定非営利活動法人

社会的責任投資フォーラム（JSIF）

定例理事会・総会

日時：　平成 26 年 2 月 27 日（木）　18:45～19:50

場所：　株式会社 QUICK セミナールーム（中央区日本橋室町 2-1-1 日本橋三井タワー14 階）

在籍：　理事 15 名（平成 25 年 12 月 31 日時点）＊理事会成立定足数：　8 名

会員総数：102 名（平成 25 年 12 月 31 日時点）＊総会成立定足数：　34 名

議 事 次 第

１．　開会宣言

２．　会長挨拶

３．　議長選出と議事録署名人選出

４．　定足数の確認

５．　議事　　【資料 No.1～9】

（１）　第 10 期 平成 24 年度事業報告審議（理事会・総会議決事項）

（２）　第 10 期 平成 24 年度収支決算審議（理事会・総会議決事項）　【No.1～5】

（３）　第 10 期 平成 24 年度監査報告

（４）　第 11 期 平成 25 年度事業計画案審議・報告（理事会議決・総会報告事項）　【No.6】

（５）　第 11 期 平成 25 年度 収支予算案審議・報告（理事会議決・総会報告事項）　【No.7】

（６）運営委員　選出審議　（理事会議決事項）　【No.8】

（７）理事　選出審議（総会議決事項）　【No.9】

（８）定款変更　審議　【No.10】

６．　議長解任

７．　閉会宣言

第10期事業報告・収支決算

自　平 成 25 年 1 月 1 日
至　平 成 25 年 12 月 31 日

事　業　報　告　書

財　　産　　目　　録

賃　借　対　照　表

収　支　計　算　書

収支実績予算対照表

特定非営利活動法人

社会的責任投資フォーラム

平成 25 年度　事業報告書

平成 25 年 1 月 1 日から 12 月 31 日まで

特定非営利活動法人 社会的責任投資フォーラム（JSIF）

特定非営利活動法人 社会的責任投資フォーラム（JSIF）の事業は、会員による年会費や協賛等の様々な形のご支援、役員、運営委員による無償の活動によって実施され、以下の成果を挙げることができた。

１．会員動向

平成２５年度の会員在籍数と入退会状況は以下の通りである。
法人会員は 4 社増、1 社減(※)。個人会員は入会 21 名。また退会者 43 名のうち、2 年以上の会費滞納（定款第８条２項⑶による)及び連絡先不明による退会が 28 名､全体で 22 名減。

※CSR デザイン環境投資顧問株式会社（5 月にご退会)、一般社団法人自然エネルギー市民基金（4 月に NPO 法人環境エネルギー政策研究所へ移行）

種　別　※	期　首	入　会	退　会	期　末
金融機関（Ⅰ）	5	0	0	5
金融機関（Ⅱ）	0	0	0	0
金融機関（Ⅲ）	4	0	1	3
金融機関（Ⅳ）	0	0	0	0
一般企業	5	2	0	7
公的・中間機関	7	2	0	9
NPO/NGO	3	1	1	3
個　人	97	21	43	75
（内、学生）	(11)	(0)	(9)	(2)
合　計	**121**	**26**	**45**	**102**

※金融機関の分類
- 金融機関（Ⅰ）…金融ホールディングカンパニー及び、以下（Ⅱ）～（Ⅳ）以外
- 金融機関（Ⅱ）…地方銀行
- 金融機関（Ⅲ）…投資信託委託・投資顧問・投資会社・信用金庫単独
- 金融機関（Ⅳ）…信用組合

＜法人・団体会員内訳＞　入会順

【プレミアム法人会員】
- 株式会社クレアン
- KPMG あずさサステナビリティ株式会社
- 三井住友信託銀行株式会社
- 株式会社インテグレックス
- 日興アセットマネジメント株式会社
- ニッセイアセットマネジメント株式会社
- EIRIS

・ 新日本有限責任監査法人（2 月ご入会）

【一般法人会員】

・ 株式会社セブン＆アイ･ホールディングス
・ 株式会社日本政策投資銀行
・ 株式会社大和証券グループ本社
・ 東京海上日動火災保険株式会社
・ NPO 法人エティック
・ NPO 法人環境エネルギー政策研究所
・ 株式会社損害保険ジャパン
・ 株式会社三井住友銀行
・ プライスウォーターハウスクーパースサステナビリティ株式会社（旧　株式会社あらたサステナビリティ認証機構）
・ CDP（旧 Carbon Disclosure Project）
・ FTSE Group
・ 一般財団法人日本経済研究所
・ 社団法人投資信託協会
・ ブルームバーグ・エル・ピー
・ 独立行政法人国際協力機構
・ 株式会社エッジ・インターナショナル
・ MSCI.Inc（2 月ご入会）
・ 損害保険労働組合連合会（3 月ご入会）
・ 株式会社 QUICK（4 月ご入会）

2．平成 25 年度事業報告

当期は新たな事業として、国内の年金基金に対し ESG 投資に関するアンケートを実施し、レポート「日本の年金と ESG 投資」を発行した。

（1） 定例勉強会

多岐にわたるテーマで 6 回開催し、今期は統合報告への関心の高まりを背景に参加者数も前期比倍増となった。

事業収入　274 千円（参加費）　　事業支出　123 千円（講演謝礼、消耗品等）
参加者　延べ 286 名（前年は 134 名）

開催テーマ、講演者、参加者数等は別紙「平成２５年度勉強会・セミナー開催一覧」の通り。

（2） 特別セミナー

法人会員の EIRIS、㈱大和証券グループ本社、MSCI.Inc との共催で 3 回開催した。

事業収入　213 千円（参加費）　　事業支出　59 千円（講演謝礼、消耗品等）
参加者　延べ 148 名

開催テーマ、講演者、参加者数等は別紙「平成２５年度勉強会・セミナー開催一覧」の通り。

（3） 金融機関ダイアログ

ＳＲＩを推進する金融機関(法人会員対象)およびアナリスト(個人会員)を対象としたクローズドな会を金融機関ダイアログとして実施。当期は Trusoct 社の Tom Barnett 氏の来日に合わせて 1 度実施した（11 月)。

事業収入 0円　　事業支出 0円

（4） 早稲田大学大学院ファイナンス研究科の講座へ講師推薦

JSIF 理事でもある首藤恵教授の担当講座「CSR と SRI」への講師を推薦した。JSIF の事業趣旨にも合致するため継続して協力しており、今回で５回目となる。講師は運営委員・会員が務めた。講義概要と講師一覧は、別紙「平成２５年度勉強会・セミナー開催一覧」の通り。

事業収入 0円　　事業支出 0円

（5）「日本の年金と ESG 投資」の発行およびお披露目シンポジウム

今期より２年に 1 度「年金基金による ESG 投資」のアンケート調査を行い、調査結果をレポートにまとめる事業を立ち上げた。国内約 2000 の年金基金へアンケートを送付し、46 基金から回答を得た。調査結果のレポートに有識者コメントを加え、「日本の年金と ESG 投資」のタイトルで発行した。※こちらのレポートは会員専用ページで閲覧可能です

またこの冊子の発行記念シンポジウムを開催した。今回の調査結果の紹介や欧州の事情の講演をはじめ、実際に ESG を考慮した運用を実施している年金基金とファンドマネージャーによるパネルディスカッションのプログラム構成で実施した。

助成 公益財団法人トラスト 60
アンケート協力 「オル・イン」編集部、英国 FTSE Group、UKSIF
冊子の編集・エディトリアルデザイン協力 株式会社エッジ・インターナショナル
シンポジウム共催 大和証券株式会社

助成金　　500 千円
事業収入　100 千円（シンポジウム協賛金）
事業支出　476 千円（冊子印刷費、講演謝礼等）

（6）第２回 SRI レポートコンテスト

第１回に引き続き、SRI や ESG 投資に関する研究活動を促進、成果を情報発信する目的で、レポートコンテストを実施。2013 年 12 月締切りで翌年 1 月に審査を実施した。

結果 総会当日に発表します

共催・特別協賛　株式会社きんざい
特別協賛　株式会社大和証券グループ本社
一般協賛　株式会社エッジ・インターナショナル、KPMG あずさサステナビリティ株式会社
審査員(敬称略・50 音順)

- 荒井勝(JSIF 会長)
- 金井司(三井住友信託銀行 経営企画部 CSR 担当部長)
- 河口真理子(大和総研 調査本部 主席研究員/JSIF 共同代表理事・事務局長)
- 首藤惠(早稲田大学大学院ファナンス研究科教授)
- 水口剛(高崎経済大学経済学部教授/JSIF 共同代表理事)

事業収入　300 千円（協賛金）
事業支出　0 千円

（7）ロゴ変更

海外への展開が徐々に増えていることを鑑み、世界各国の SIF の中で「日本の SIF」であることを明確にするため、ロゴデザイン・英語名称を変更した。

デザイン協力　ムラタ・チアキ 氏
新英語名称　Japan Sustainable Investment Forum

（8）ホームページ運営

ＳＲＩ・ESG 投資に関する各種情報の提供として、公募ＳＲＩ純資産残高ならびに、社会貢献型債券の一覧をまとめて「最新 SRI 市場残高」とし、3，6，9，１２月末時点の更新を発表、複数の企業・団体(ASrIA、Global Sustainable Investment Alliance など)から引用依頼があり、ご活用いただいている。

残高集計協力　株式会社 QUICK（投資信託)、大和証券株式会社（債券）

事業収入　0円　　事業支出　49 千円

（10）メールマガジン

主に勉強会他イベントや年報発行などの告知に活用し、月に1度を目安に配信している。

事業収入　0円　　事業支出　0円
配信数　期末現在　1272 通（前期末 1314 通）

（11）その他

4月に国際統合報告評議会（International Integrated Reporting Council 、以下 IIRC）が公表した公開草案に対し、有志で数回議論を行い、JSIFとしての意見を提出した。

以上

平成25年度　勉強会・セミナー開催一覧

回	開催日	テーマ	講師、登壇者(敬称略)	会場	参加総数	会/非会
定例勉強会						
45	H25.2.14	「世界の水危機と、水環境保全に向けた枠組みづくり ～「水の世紀」と呼ばれる21世紀の課題を考える」	内田 宏樹 (一般社団法人Water CSR JAPAN)	東京ウイメンズプラザ	30	7/23
46	H25.5.9	「SRI事情・初級編」	水口　剛 (高崎経済大学教授/JSIF共同代表理事)	東京ウイメンズプラザ	30	14/16
47	H25.6.24	「マテリアリティ・ショック-GRIガイドライン第4版」	金井 司 (三井住友信託銀行㈱)	QUICK	49	14/35
48	H25.7.8	21世紀金融行動原則・運用証券投資銀行WG /日本CFA協会/JSIF共催 「統合報告」	小澤 ひろこ (IIRC、新日本有限責任監査法人)	新日本有限責任監査法人	103	57/46
49	H25.9.4	「統合報告の作り方・読み方」	金田 晃一(武田薬品工業㈱) 筒井 裕子(日本郵船㈱) 井口 譲二(ニッセイアセットマネジメント㈱) 菊池 勝也(大和証券投資信託委託㈱) 阿部 和彦(プライスウォーターハウスクーパースサステナビリティ㈱ /JSIF監事)	QUICK	58	26/32
50	H25.9.12	「CSR活動への取り組みが生みだすステキな効果 ～従業員のコミットメントへの影響を定量的に考える ―キッコーマンの食育活動の実践と従業員アンケート調査から」	大津山 厚(キッコーマン㈱) 吉田 哲朗(JSIF運営委員)	QUICK	16	5/11

※回は設立以来の通算回数

特別セミナー						
1	H25.3.29	EIRIS社長来日特別セミナー 「海外ESG調査会社からみた日本企業」	ピーター・ウェブスター(EIRIS社長)	JICA地球ひろばセミナールーム	65	44/21
2	H25.6.4	IFC/大和証券/JSIF 共催セミナー 「アフリカにおける女性のエンパワーメント支援とインパクト投資」	増岡 俊哉(IFC) ペイシエンス・マリメボール(IFC) エヴェリン・ホートウィック(IFC) 木全 ミツ(認定NPO法人女性教育奨励会) ジャッキー・ヴァンデルブルグ(バンク・オブ・アメリカ) エドアルド・フェレイラ(イタウ・ウニバンコ銀行) エアリート・パテル・アルヴェス(Ka da Terra Supermercados) 森重 裕子(ア・ダンセ) 河口 真理子(㈱大和総研/JSIF共同代表理事)	大和証券グループ	53	13/40
3	H25.7.30	MSCI/JSIF　共催セミナー 「ESG投資ダイアローグ」	鷹羽 美奈子(MSCI ESGリサーチ) 内 誠一郎(MSCI) 大海 雄三(MSCI)	MSCI Inc. セミナールーム	30	9/21

シンポジウム						
25.12.5		大和証券/JSIF共催シンポジウム 「日本の年金とESG投資：2013 JSIF調査より」	桂 照男(企業年金連合会) 荒井 勝(JSIF会長) 岸上 有沙(FTSEグループ) 井口 譲二(ニッセイアセットマネジメント㈱) 窪田 真之(大和証券投資信託委託㈱) 山崎 孝一(キッコーマン㈱) 水口　剛(高崎経済大学教授/JSIF共同代表理事) 首藤 惠(早稲田大学大学院ファイナンス研究科教授 /JSIF理事)	グラントウキョウノースタワー18F大和コンファレンスルーム	120	34/86

早稲田大学大学院ファイナンス研究科への講師推薦協力(講師所属は講義実施時のもの)				
1	H25.4.5	CSR/SRI概論	荒井　勝	JSIF会長
2	H25.4.12	CSR報告書と非財務情報開示	水口　剛	高崎経済大学
3	H25.4.19	CSRの評価	秋山　をね	㈱インテグレックス
4	H25.4.26	海外SRI事情	足達　英一郎	㈱日本総合研究所
5	H25.5.10	SRI運用の実際	向畑　康志	三井住友信託銀行㈱　株式運用部
6	H25.5.17	SRIと債券	山本　聡	大和証券㈱金融市場営業第一部　海外法人課
7	H25.5.24	SRIと投資信託のパフォーマンスに関する実証研究	亀井　茉莉	日興アセットマネジメント㈱
8	H25.5.31	年金運用におけるSRI－ESG投資とPRIの動向	森澤　みちよ	PRI事務局
9	H25.6.7	年金運用におけるESG投資の実際	八木　博一	セコム企業年金基金
10	H25.6.14	グリーンビルディング投資	平松　宏城	CSRデザイン&ランドスケープ㈱
11	H25.6.21	マイクロファイナンス	広瀬　大地	特定非営利活動法人グラネットファイナンスジャパン
12	H25.6.28	企業のESG格付け-インダストリー事例	鷹羽　美奈子	MSCI
13	H25.7.5	企業のガバナンスとSRI	山崎　明美	日本シェアホルダーサービス㈱
14	H25.7.12	CSRの実際－企業経営の観点から	河口　真理子	㈱大和総研　調査本部

※会場はすべて早稲田大学日本橋キャンパス

25 年度　特定非営利活動に係る事業会計財産目録

平成 25 年 12 月 31 日現在

特定非営利活動法人　社会的責任投資フォーラム

科　目　・　摘　要	金　額　（単位：円）		
Ⅰ　資産の部			
1　流動資産			
現金預金			
普通預金（三井住友銀行赤坂支店）	4,516,425		
普通預金（三菱東京 UFJ 銀行赤坂見附支店）	231,302		
未収入金			
未収協賛金	100,000		
流動資産合計		4,847,727	
2　固定資産			
什器備品　（ﾊﾟｿｺﾝ 3 台）	2,605		
固定資産合計		2,605	
資産合計			4,850,332
Ⅱ　負債の部			
1　流動負債			
前受金（助成金平成 26 年分）	500,000		
前受金（年報協賛金）	800,000		
未払費用（年金レポート冊子印刷代）	184,800		
預り金（源泉所得税）	13,046		
預り金（職員に対する社会保険料）	13,274		
流動負債合計		1,511,120	
2　固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			1,511,120
正味財産			3,339,212

25 年度　特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

平成 25 年 12 月 31 日現在

特定非営利活動法人　社会的責任投資フォーラム

科　目	金　額	（単位：円）	科　目	金　額	（単位：円）
Ⅰ　資産の部			Ⅱ　負債の部		
1　流動資産			1　流動負債		
普通預金	4,747,727		未払費用	184,800	
未収入金	100,000		前受金	1,300,000	
			預り金	26,320	
			流動負債合計		1,511,120
流動資産合計		4,847,727	2　固定負債		
2　固定資産					
什器備品	2,605				
			固定負債合計		0
			負債合計		1,511,120
			Ⅲ　正味財産の部		
固定資産合計		2,605	前期繰越正味財産	2,233,247	
			当期正味財産		
			増加額（減少額）	1,105,965	
			正味財産合計		3,339,212
			負債及び正味財産		
資産合計		4,850,332	合計		4,850,332

25 年度　特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

平成 25 年 12 月 31 日現在

特定非営利活動法人　社会的責任投資フォーラム

科　　目	金　　額　（単位：円）		
Ⅰ　資産の部			
1　流動資産			
普通預金	4,747,727		
未収入金	100,000		
流動資産合計		4,847,727	
2　固定資産			
什器備品	2,605		
固定資産合計		2,605	
資産合計			4,850,332
Ⅱ　負債の部			
1　流動負債			
未払費用	184,800		
前受金	1,300,000		
預り金	26,320		
流動負債合計		1,511,120	
2　固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			1,511,120
Ⅲ　正味財産の部			
前期繰越正味財産		2,233,247	
当期正味財産増加額（減少額）		1,105,965	
正味財産合計			3,339,212
負債及び正味財産合計			4,850,332

２５年度　特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

平成 25 年 1 月 1 日から平成 25 年 12 月 31 日まで

特定非営利活動法人　社会的責任投資フォーラム

科　　目	金　　額　（単位：円）		
Ⅰ　経常収入の部			
1　会費収入			
金融機関会費	1,700,000		
一般法人会費	750,000		
公的･中間機関会費	1,100,000		
NPO･NGO 会費	30,000		
個人会費	685,000	4,265,000	
2　事業収入			
勉強会活動収入	487,598		
SRI 普及･啓発活動収入	417,500	905,098	
3　助成金収入			
助成事業収入	500,000	500,000	
4　寄付金収入			
寄付金収入	50,000	50,000	
3　雑収入			
受取利息収入	589		
雑収益	5,066	5,655	
経常収入合計			5,725,753
Ⅱ　経常支出の部			
1　事業費			
勉強会活動費用	182,495		
ホームページ運営活動費用	49,680		
助成事業支出	476,992		
給料手当（事業）	1,572,584	2,281,751	
2　管理費			
給料手当	846,776		
法定福利費	304,873		
会議費	901		
通信費	74,019		
旅費交通費	159,020		
消耗備品費	68,444		
印刷製本費	36,000		
地代家賃	600,000		
諸会費	3,000		
支払手数料	46,175		
租税公課	1,116		
業務委託費	189,000		
雑費	500	2,329,824	
経常支出合計			4,611,575

経常収支差額			1,114,178
Ⅲ　その他資金収入の部			
1　その他資金収入	0	0	
その他資金収入合計			0
Ⅳ　その他資金支出の部			
1　その他資金支出	0	0	
その他資金支出合計			0
当期収支差額			1,114,178
前期繰越収支差額			2,222,429
次期繰越収支差額			3,336,607
（正味財産増減の部）			
Ⅴ　正味財産増加の部			
1　資産増加額			
当期収支差額（再掲）		1,114,178	
2　負債減少額			
		0	
増加額合計			1,114,178
Ⅵ　正味財産減少の部			
1　資産減少額			
什器備品減価償却額		8,213	
2　負債増加額			
		0	
減少額合計			8,213
当期正味財産増加額			1,105,965
前期繰越正味財産額			2,233,247
当期正味財産合計			3,339,212

計算書類に対する注記

１．重要な会計方針

(1)　固定資産

①　計上基準

取得価額１０万円以上で１年以上使用見込みのあるものを固定資産に計上しております。

②　減価償却の方法

有形固定資産の減価償却の方法は定率法を採用しております。

(2)　資金の範囲

資金の範囲については、現金預金、未収入金、前受金、未払費用、預り金を含めております。

(3)　会費収入

当法人の会費収入は現金基準によっております。

２．有形固定資産

（単位：円）

科　　目	取得価額	減価償却累計額	期末残高
什器備品	378,950	376,345	2,605

３．次期繰越収支差額の内訳

（単位：円）

科　　目	前期末残高	当期末残高
現金預金	2,528,892	4,747,727
未収入金	39,902	100,000
合　　計	2,568,794	4,847,727
未払金	318,000	0
未払費用	0	184,800
前受金	0	1,300,000
預り金	28,365	26,320
合　　計	346,365	1,511,120
次期繰越収支差額	2,222,429	3,336,607

４．当期正味財産増加額の内訳

(単位：円)

当期収支差額	1,114,178
減価償却費	△8,213
当期正味財産増加額	1,105,965
前期繰越正味財産	2,233,247
次期繰越正味財産	3,339,212

平成26年2月4日

監　査　報　告　書

特定非営利活動法人 社会的責任投資フォーラム
　　理　事　会　　御　中

監事　阿部　和彦

監事　菅生　直美

私たちは、特定非営利活動法人社会的責任投資フォーラム（以下、同法人という）の平成25年1月1日から同年12月31日に係る会計及び業務について監査を行い、以下のとおり報告する。

1．財産目録及び収支計算書は、会計帳簿と一致し、同法人の財政状態及び収支の状況を重要な点において、正しく示しているものと認める。
2．事業報告書の記載内容は、重要な点において、真実を示しているものと認める。
3．理事の職務執行に関する不正事項及び法令・定款に反する重要な事項は認められなかった。

以上

平成25年度特定非営利活動に係る事業会計収支実績表

平成25年1月1日～平成25年12月31日

特定非営利活動法人社会的責任投資フォーラム

（単位：円）

科目	細目	24年度実績	25年度予算	同実績	備考
Ⅰ経常収入の部					
1.会費収入		**3,715,000**	**3,780,000**	**4,265,000**	
正会員会費収入	金融機関会員(1口10万×1～5口／8会員)	1,900,000	1,600,000	1,700,000	
( )内は、期末在籍ベース	一般法人会員(1口10万×1～3口／7会員)	500,000	650,000	750,000	
	公的・中間機関会員(1口10万×1口／9会員)	700,000	900,000	1,100,000	
	NPO/NGO会員(1口1万×1口／3会員)	20,000	30,000	30,000	
	個人会員(1口1万×1口／75会員)	595,000	600,000	685,000	
2.事業収入		**411,000**	**1,000,000**	**1,405,098**	
	勉強会・金融機関ダイアログ	102,000	100,000	487,598	
	シンポジウム	0	100,000	100,000	
	レポートコンテスト	0	300,000	300,000	
	SRI普及・啓発活動収入	309,000	0	17,500	
	ホームページ運営収入	0	0	0	
	助成金収入	0	500,000	500,000	
3.雑収入		**1,603**	**500**	**55,655**	
	寄付金収入	0	0	50,000	
	受取利息、雑収入	1,603	500	5,655	
経常収入合計(A)		**4,127,603**	**4,780,500**	**5,725,753**	
Ⅱ経常支出の部					
1.事業費		**2,598,241**	**2,116,000**	**2,281,751**	
	勉強会・金融機関ダイアログの実施費用	29,061	100,000	182,495	講師謝礼等
	シンポジウムの実施費用（助成事業）	74,932	100,000	80,992	講師謝礼等
	年金レポート発行費用（助成事業）	0	0	396,000	印刷費用
	レポートコンテストの活動費用	0	50,000	0	
	SRI年報2011の発行費用	689,760	0	0	
	連携による活動強化	0	100,000	0	
	ホームページ運営	45,155	50,000	49,680	
	メールマガジン運営	0	0	0	
事業管理運営費	給料手当(事業)	1,759,333	1,716,000	1,572,584	常勤者1名・非常勤者1名の給料の65%
2.管理費		**2,341,405**	**2,314,000**	**2,329,824**	
事務局運営費	給料手当	947,334	924,000	846,776	常勤者1名・非常勤者1名の給料の35%
	法定福利費	280,901	300,000	304,873	社会保険料
	旅費交通費	171,890	120,000	159,020	
	地代家賃	600,000	600,000	600,000	
	支払手数料・業務委託費	219,075	220,000	235,175	税理士報酬等
	通信・印刷・備品等	122,205	150,000	183,980	
経常支出合計(B)		**4,939,646**	**4,430,000**	**4,611,575**	
当期収支差額(A)-(B)		△ 812,043	350,500	1,114,178	
前期繰越収支差額		3,034,472	2,222,429	2,222,429	
次期繰越収支差額		**2,222,429**	**2,572,929**	**3,336,607**	

第11期　事業計画・予算（案）

自　平 成 26 年 1 月 1 日
至　平 成 26 年 12 月 31 日

特定非営利活動法人
社会的責任投資フォーラム

平成26年度 年間事業計画(案)

平成26年1月1日～平成26年12月31日

定款第５条に基づく次の特定非営利活動に係る事業を実施する。

特定非営利活動法人社会的責任投資フォーラム

事業区分	事業名	具体的な内容	運営管理	実施予定時期・回数	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込額（単位：円）
勉強会・金融機関ダイアログ運営	定例勉強会の開催	SRI・ESG投資に関心のある会員・非会員を対象に、情報交換・意見交換を行なう。 毎回、実務家を中心に講師を招き、参加者へ最新情報を提供し、交流の場とする。	運営委員 事務局	不定期	東京都	数名	SRI関係者及び興味を持つ不特定多数の人	200,000
	連続講座の開催	【26年度の新企画】 2009年度より早稲田大学大学院ファイナンス研究科のSRI・CSR講座に講師紹介を続けていた経験を生かし、今年度よりJSIF主催の連続講座を実施する。 ・春、秋の2期に分け、それぞれ数回ずつ開催予定	理事 運営委員 事務局	通年	東京都	約10名	SRI関係者及び興味を持つ不特定多数の人	
	金融機関ダイアログの開催	法人会員のSRI関係者（一部個人会員も含む）を対象としたクローズドな会とする。 昨今話題となっている第一戦で活躍されている専門家を交えて、議論の場を設けることを通じて、 ・金融機関と専門家とのダイアログの推進 ・SRI関係者からのコメントの共有 ・金融機関同士のネットワーク作り を図り、より実質的なSRI普及活動に寄与する。あわせて会員獲得を図る。	運営委員 事務局	不定期	東京都	数名	SRI関係者及び金融機関	
シンポジウム運営	シンポジウムの開催	当期に発行する「SRI年報2013」のお披露目シンポジウムの開催する。（7月頃予定） 前期実施のレポートコンテストの優秀者の発表	運営委員 事務局	1度	東京都	数名	SRI関係者及び興味を持つ不特定多数の人	100,000
SRI年報の発行	2013年度版	1年おきに発行している「日本SRI年報」の2013年度版について発行する。	運営委員 事務局	～春頃	東京都	約10名	SRI関係者及び興味を持つ不特定多数の人	600,000
連携による活動強化	海外との連携を深める	PRIとの連携事業を検討する。 イギリスSIFと連携し、欧州での情報発信を検討する。 海外のSRI関係者が来日する機会があれば、それに合わせてSIF主催のイベント開催を検討する。 EIRIS来日時に金融機関ダイアログ等交流の場を検討する。	運営委員 事務局	通年	-	数名	海外のSRI関係者	50,000
	各種制度設計などへの関与	具体例 ・前期の年金レポート作成・シンポ開催に引き続き年金基金への働きかけ強化。 ・IIRCと連携し、統合報告の発展を目指した活動を検討する。	運営委員 事務局	通年	東京都	数名	制度設計を行っている各種団体･省庁など	
ホームページ運営	ホームページの運営･管理	・日本におけるSRIの概要、最新情報等について幅広く多くの人々に中立的な立場から情報を提供する。 ・SRI投信・SRI債券のデータ更新（3，6，9，12月末）。 ・会員専用ページで勉強会のレジュメをダウンロード配布。 ※25年度に実施したロゴ・英語名称変更に伴うドメイン変更、ホームページ新調のための支出を計上	事務局	通年	東京都	1名	地域非限定、不特定多数	250,000
メールマガジン運営	月刊メールマガジンの発行	・SRIやESG投資に関するあらゆる情報を無料で頒布することで、に関心を持つ方の裾野を広げ、持続的な情報提供を行う。 ・JSIFの活動のお知らせ、オピニオンリーダーによるSRIに関する雑感、SRI・ESG投資に関する文献情報、関連イベント情報などをメールによって無料で広く発信する。 ※メールマガジン配信について新たなシステム構築のための支出を計上	事務局	月1回	東京都	1名	地域非限定、不特定多数	50,000
小計								1,250,000
各事業推進に係る給料手当て								1,560,000
合計								**2,810,000**

平成26年度特定非営利活動に係る事業会計収支予算書案

平成26年1月1日～平成26年12月31日

特定非営利活動法人社会的責任投資フォーラム

（単位：円）

科目	細目	25年度予算額	同実績	26年度予算額	備考
Ⅰ経常収入の部					
1.会費収入		**3,780,000**	**4,265,000**	**4,380,000**	
正会員会費収入	金融機関会員(1口10万×1～5口／8会員)	1,600,000	1,700,000	1,900,000	
( )内は、期末在籍ベース	一般法人会員(1口10万×1～3口／7会員)	650,000	750,000	750,000	
	公的・中間機関会員(1口10万×1～2口／9会員)	900,000	1,100,000	1,100,000	
	NPO/NGO会員(1口1万×1口／3会員)	30,000	30,000	30,000	
	個人会員(1口1万×1口／75会員)	600,000	685,000	600,000	
2.事業収入		**1,000,000**	**1,405,098**	**1,600,000**	
	勉強会・金融機関ダイアログ	100,000	492,598	200,000	
	シンポジウム	100,000	100,000	100,000	
	レポートコンテスト	300,000	300,000	0	
	SRI普及・啓発活動収入	0	12,500	800,000	SRI年報協賛金
	ホームページ運営収入	0	0	0	
	助成金収入	500,000	500,000	500,000	トラスト60
3.雑収入		**500**	**55,655**	**500**	
	寄付金収入	0	50,000	0	
	受取利息、雑収入	500	5,655	500	
経常収入合計(A)		**4,780,500**	**5,725,753**	**5,980,500**	
Ⅱ経常支出の部					
1.事業費		**2,116,000**	**2,281,751**	**2,810,000**	
	勉強会・金融機関ダイアログの実施費用	100,000	182,495	200,000	
	シンポジウムの実施費用	100,000	80,992	100,000	
	年金レポート発行費用	0	396,000	0	
	SRI年報2013の発行費用	0	0	600,000	印刷費・発送費など
	レポートコンテストの活動費用	50,000	0	0	
	連携による活動強化	100,000	0	50,000	
	ホームページ運営	50,000	49,680	250,000	新ページ作成費用含む
	メールマガジン運営	0	0	50,000	メルマガ配信システム構築費用
事業管理運営費	給料手当(事業)	1,716,000	1,572,584	1,560,000	1名分の給料の65%
2.管理費		**2,314,000**	**2,329,824**	**2,370,000**	
事務局運営費	給料手当	924,000	846,776	840,000	1名分の給料の35%
	法定福利費	300,000	304,873	350,000	
	旅費交通費	120,000	159,020	150,000	
	地代家賃	600,000	600,000	600,000	
	支払手数料・業務委託費	220,000	235,175	230,000	税理士報酬等
	通信・印刷・備品等	150,000	183,980	200,000	
経常支出合計(B)		**4,430,000**	**4,611,575**	**5,180,000**	
当期収支差額(A)-(B)		350,500	1,114,178	800,500	
前期繰越収支差額		2,222,429	2,222,429	3,336,607	
次期繰越収支差額		**2,572,929**	**3,336,607**	**4,137,107**	

運営委員一覧

（敬称略・50音順）　　任期：平成26年4月1日～平成28年3月31日

	氏　　名	所　　属
1	荒井　勝	ＦＴＳＥ ４Ｇｏｏｄ 政策委員会メンバー
2	粟野　瑞季	トムソン・ロイター
3	石坂　彩	三井住友信託銀行株式会社
4	内田　宏樹	株式会社クレアン
5	大竹　大	株式会社アイフィスジャパン
6	かとう　正法	NPO法人 環境文明２１
7	亀井　茉莉	日興アセットマネジメント株式会社
8	河口　真理子	大和総研株式会社
9	岸上　有沙	ＦＴＳＥ Ｇｒｏｕｐ
10	小椋　雅章	向社会性研究所
11	清水　裕	スパークス・アセット・マネジメント株式会社
12	鷹羽　美奈子	ＭＳＣＩ
13	永田　洋	株式会社エッジ・インターナショナル
14	簇野　萌子	株式会社エッジ・インターナショナル
15	波多野　肇	株式会社ＱＵＩＣＫ
16	平松　宏城	CSR デザイン＆ランドスケープ株式会社
17	福吉　隆行	株式会社日本政策投資銀行
18	町田　寛典	株式会社クレアン
19	山﨑　明美	日本シェアホルダーサービス株式会社 （三菱UFJリサーチ＆コンサルティング株式会社より出向）
20	山本　利明	大阪電気通信大学
21	吉田　哲朗	株式会社しんきん信託銀行

特定非営利活動法人社会的責任投資フォーラム

理事・監事候補者名簿

候補（任期※：平成26年4月1日～平成27年3月31日）

役職	氏名（各50音順・敬称略）	備考　※個人が所属する組織は会員とは限りません。	報酬	備考
理事	市江　正彦	株式会社日本政策投資銀行	無	

現理事・監事名簿(50音順)

参考（任期：平成25年4月1日～平成27年3月31日）

役職	氏名（各50音順・敬称略）	備考　※個人が所属する組織は会員とは限りません。	報酬	備考
理事・会長	荒井　勝	ＦＴＳＥ４Ｇｏｏｄ 政策委員会メンバー	無	
理事	青木　修三	モルガン・スタンレーＭＵＦＧ証券株式会社	無	
代表理事	秋山　をね	株式会社インテグレックス	無	
理事	足達　英一郎	株式会社日本総合研究所	無	
理事	稲岡　稔	(元)株式会社セブン&アイ・ホールディングス	無	
代表理事	河口　真理子	株式会社大和証券グループ本社	無	
理事	木内　孝	ＮＰＯ法人フューチャー５００	無	
理事・最高顧問	後藤　敏彦	環境監査研究会	無	
理事	首藤　恵	早稲田大学大学院	無	
理事	薗田　綾子	株式会社クレアン	無	
理事	菱田　賀夫	三井住友信託銀行株式会社	無	
理事	菱山　隆二	ＮＧＯ企業行動研究センター	無	
理事	松下　浩一	株式会社大和証券グループ本社	無	
代表理事	水口　剛	高崎経済大学	無	
理事	宮城　治男	ＮＰＯ法人エティック	無	
監事	阿部　和彦	プライスウォーターハウスクーパースサステナビリティ株式会社	無	
監事	菅生　直美	ＫＰＭＧあずさサステナビリティ株式会社	無	

特定非営利活動法人　社会的責任投資フォーラム　定款

新旧対照表

新	旧
【第1章　総則】 （名称） 第 1 条 2　英文名称は、JSIF とする。	【第2章　総則】 （名称） 第 1 条 2　英文名称は、SIF-Japan とする。
【第 6 章】総会 第 26 条　総会に出席できない正会員は、あらかじめ通知された事項について、書面（電子メールなど電磁的方法を含む）をもって表決し、または出席する正会員を代理人として表決を委任することができる。	【第 6 章】総会 第 26 条　総会に出席できない正会員は、あらかじめ通知された事項について、書面をもって表決し、または出席する正会員を代理人として表決を委任することができる。